※令和４年度以降入学生用

学校番号	3018

令和５年度　地歴公民科

教科	公民科	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　「公共」　（第一学習社）						
副教材等	「クローズアップ公共 2023」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・これから学ぶ「公共」では中学校の社会科で学んだ内容を基礎にして、現代社会の諸問題や政治経済の仕組み学びます。
・現代社会の多様な出来事を時事問題や資料を通じて考え、私たちが直面する各種問題に関心を持って学習できるようにします。
・地域社会など様々な集団の一員として他者と協力して生き、国家や社会などを形成する存在であることを学びます。

２　学習の到達目標

国家や社会などの「公共的空間」をつくる存在として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目標とする。
(1) 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解する力を養う。
(2) 様々な集団の一員として生き、他社との協働により当事者として国家・社会などの公共的空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。
(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的かつ協働的に解決しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	幸福、正義、公正など社会のあり方についての見方や考え方を働かせ、倫理、社会、政治、法、経済、国際関係などの諸課題を追求し、国家および社会の形成者に必要な知識を身につけている。	現代社会の諸課題の解決に向け、自己と社会の関わりあいをふまえ、社会に参画する主体として自立することや、他者と協力して、より良い世界を形成することなどを考察している。	社会一般の問題に粘り強く取り組むと共に、学習内容を日常の出来事と関連づける力を身につける。 自主的に学習した内容を発表する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	公共の扉	・公共的な空間をつくる私たち ・公共的な空間における人間としてのあり方	a:授業に積極的に取り組めているか教材に対して関心は高いか。 b:自らが考えたことを、発言できているか。 c:学習内容を日常生活と関連づけ自主的に学習できているか。	授業発問 小テスト 定期考査	小テスト 課題提出	定期考査 発表 論文
	公共の扉	・公共的な空間における基本的原理	a:授業に積極的に取り組めているか教材に対して関心は高いか。 b:自らが考えたことを、発言できているか。 c:学習内容を日常生活と関連づけ自主的に学習できているか。	授業発問 小テスト 定期考査	小テスト 課題提出	定期考査 発表 論文
二学期	法的な主体と私	・法や規範の意義と役割 ・契約と消費者の権利・責任 ・司法参加の意義	a:授業に積極的に取り組めているか教材に対して関心は高いか。 b:自らが考えたことを、発言できているか。 c:学習内容を日常生活と関連づけ自主的に学習できているか。	授業発問 小テスト 定期考査	小テスト 課題提出	定期考査 発表 論文
	政治的な主体と私達	・政治参加と公正な世論の形成 ・国際社会と国家主権 ・日本の安全保障	a:授業に積極的に取り組めているか教材に対して関心は高いか。 b:自らが考えたことを、発言できているか。 c:学習内容を日常生活と関連づけ自主的に学習できているか。	授業発問 小テスト 定期考査	小テスト 課題提出	定期考査 発表 論文
三学期	経済的な主体	・雇用と労働問題 ・社会の変化と職業観 ・市場経済の機能と限界 ・経済のグローバル化	a:授業に積極的に取り組めているか教材に対して関心は高いか。 b:自らが考えたことを、発言できているか。 c:学習内容を日常生活と関連づけ自主的に学習できているか。	授業発問 小テスト	小テスト 課題提出	発表 論文
	地球環境	・マイクロプラスチック問題 ・資源エネルギー問題 ・国際社会のこれから	a:授業に積極的に取り組めているか教材に対して関心は高いか。 b:自らが考えたことを、発言できているか。 c:学習内容を日常生活と関連づけ自主的に学習できているか。	授業発問 定期考査	小テスト 課題提出	定期考査 発表 論文

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度